

平成26年度

歳入歳出決算補充説明書

平成27年11月

警察本部

平成26年度一般会計歳入歳出決算のうち、警察本部関係の概要について御説明いたします。

【歳入】

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	41億7,028万9,000円
調定額	41億4,503万5,045円
収入済額	41億1,525万3,385円
不納欠損額	357万8,000円
収入未済額	2,620万3,660円

となっております。

【歳出】

警察費の歳出決算額は、

予算現額	366億9,527万9,000円
支出済額	365億2,431万1,511円
不用額	1億7,096万7,489円

となっております。

以下、「平成26年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明いたします。

まず、歳入決算について御説明いたします。

48頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	598万5,000円
調定額	598万6,067円
収入済額	598万6,067円

で、収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用や自動販売機の設置等に係る建物使用料であります。

64頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	22億727万4,000円
調定額	21億8,571万9,600円
収入済額	21億8,571万9,600円

で、収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料、高齢者講習手数料、更新時講習等手数料などあります。

収入済額が予算現額に比べ、2, 155万4, 400円の減収となりましたが、これは主に、自動車保管場所証明書交付申請等の実績減によるものであります。

98頁の第9款国庫支出金、第2項国庫補助金、第8目警察費補助金は、

予算現額	4億	960万円
調定額	4億	829万円
収入済額	4億	829万円

で、収入済額の主なものは、警察費補助金であります。

112頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億5, 535万7, 000円
調定額	1億5, 518万4, 443円
収入済額	1億5, 518万4, 443円

で、収入済額の主なものは、警察関係職員住宅、待機宿舍及び独身寮の家屋貸下料であります。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	228万円	
調定額	229万	704円
収入済額	229万	704円

で、収入済額は、不用となった車両等を売却した物品売払収入であります。

120頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	4億8, 252万5, 000円
調定額	4億5, 900万2, 000円
収入済額	4億5, 900万2, 000円

で、収入済額の主なものは、地域経済活性化・雇用創出臨時基金繰入金であります。

124頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	238万6, 000円	
調定額	230万	700円
収入済額	230万	700円

で、収入済額は、放置違反金滞納遅滞金であります。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	4, 897万1, 000円
調定額	5, 173万1, 000円
収入済額	4, 853万7, 000円
収入未済額	319万4, 000円 で、

収入済額は、放置違反金であります。

収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

134頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億9, 228万8, 000円
調定額	1億9, 528万7, 986円
収入済額	1億9, 528万7, 986円 で、

収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料などであります。

138頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	5.93万4, 000円
調定額	3, 193万8, 319円
収入済額	535万 659円
不納欠損額	357万8, 000円
収入未済額	2, 300万9, 660円 で、

収入済額の主なものは、放置違反金などあります。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。

第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	468万9, 000円
調定額	630万4, 101円
収入済額	630万4, 101円 で、

収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金であります。

第6目違約金及び延納利息のうち警察本部関係は、

予算現額	0円
調定額	125円
収入済額	125円 で、

収入済額は、延納利息であります。

156頁の第15款県債、第1項県債、第7目警察債は、

予算現額	6億5, 300万円
調定額	6億4, 100万円
収入済額	6億4, 100万円 で、

収入済額は、県単警察施設整備費充当、交通安全施設整備費充当及び警察署施設整備費充当であります。

収入済額が予算現額に比べ、1, 200万円の減収となりましたが、これは主に、警察署施設整備費充当事業の実績減によるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明いたしましたが、未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者に対しましては、滞納処分を継続して実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明いたします。

第9款警察費のうち、424頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額	985万7,000円
支出済額	875万2,870円
不用額	110万4,130円 で、

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費であります。

不用額の主なものは、公安委員報酬の実績減及び備品購入費の執行残などあります。

第2目警察本部費は、

予算現額	320億4,572万9,000円
支出済額	319億4,098万1,072円
不用額	1億 474万7,928円 で、

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、被服の調製、施設運営、中型汎用電算機の運用などに要した経費であります。

不用額の主なものは、給与費における退職手当、職員手当等の実績減及び警務警察運営費における旅費の執行残などあります。

426頁の第3目装備費は、

予算現額	4億2,912万3,000円
支出済額	4億1,812万7,012円
不用額	1,099万5,988円 で、

支出済額の主なものは、警察用車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費であります。

不用額の主なものは、警察装備費における需用費（主に燃料費）の執行残などです。

428頁の第4目警察施設費は、

予算現額	6億5,808万5,000円
支出済額	6億4,619万9,603円
不用額	1,188万5,397円 で、

支出済額の主なものは、警察活動の基盤となる警察署や交番・駐在所の整備などに要した経費です。

不用額の主なものは、警察署庁舎整備費における委託料の執行残などです。

430頁の第5目運転免許費は、

予算現額	10億2,720万3,000円
支出済額	10億1,420万7,225円
不用額	1,299万5,775円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、指定自動車教習所の指導監督、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費です。

不用額の主なものは、高齢者講習実施費、更新時講習等実施費の委託料の執行残などです。

第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	6,590万5,000円
支出済額	6,528万5,080円
不用額	61万9,920円 で、

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費です。

次に、432頁の第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	2億9,318万7,000円
支出済額	2億8,311万2,348円
不用額	1,007万4,652円 で、

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話の維持管理、留置施設の維持管理等に要した経費です。

不用額の主なものは、警察活動諸費における需用費（被留置者用食糧費）、旅費の執行残などです。

第2目刑事警察費は、

予算現額	7億8,204万7,000円
支出済額	7億7,242万7,906円
不用額	961万9,094円 で、

支出済額の主なものは、街頭犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の徹底検挙、暴力団排除活動の推進、少年の非行防止対策、テロ対策、災害警備対策など、県民の安全・安心を確保するために必要な各種対策の推進に要した経費であります。

不用額の主なものは、刑事警察費における報償費（通訳謝金）、生活安全警察費における需用費（消耗品費）の執行残などであります。

434頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	3億3,604万円
支出済額	3億3,001万5,589円
不用額	602万4,411円 で、

支出済額は、効果的な交通指導取締、違法駐車対策、迅速・的確な交通事故・事件捜査の推進、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費であります。

不用額の主なものは、交通環境整備事業費における委託料の執行残などあります。

436頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	10億4,810万3,000円
支出済額	10億4,520万2,806円
不用額	290万194円 で、

支出済額は、交通管制センターの設置・維持、交通信号機の設置・改良、道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費であります。

不用額の主なものは、交通安全施設維持費における工事請負費の執行残などあります。

以上、平成26年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明いたしました。

平成26年度歳入歳出決算(警察本部関係)

【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	2,213,259,000	2,191,705,667	2,191,705,667			△ 21,553,333
国庫支出金	409,600,000	408,290,000	408,290,000			△ 1,310,000
財産収入	157,637,000	157,475,147	157,475,147			△ 161,853
繰入金	482,525,000	459,002,000	459,002,000			△ 23,523,000
諸収入	254,268,000	287,562,231	257,780,571	3,578,000	26,203,660	3,512,571
県債	653,000,000	641,000,000	641,000,000			△ 12,000,000
合計	4,170,289,000	4,145,035,045	4,115,253,385	3,578,000	26,203,660	△ 55,035,615

【歳出】

単位:円

科目	予算現額			支出済額	不用額	備考
	補正予算後の額	繰越額	計			
警察管理費	34,235,902,000	0	34,235,902,000	34,093,552,862	142,349,138	
公安委員会費	9,857,000		9,857,000	8,752,870	1,104,130	
警察本部費	32,045,729,000		32,045,729,000	31,940,981,072	104,747,928	
装備費	429,123,000		429,123,000	418,127,012	10,995,988	
警察施設費	658,085,000		658,085,000	646,199,603	11,885,397	
運転免許費	1,027,203,000		1,027,203,000	1,014,207,225	12,995,775	
恩給及び退職年金費	65,905,000		65,905,000	65,285,080	619,920	
警察活動費	2,459,377,000	0	2,459,377,000	2,430,758,649	28,618,351	
一般警察活動費	293,187,000		293,187,000	283,112,348	10,074,652	
刑事警察費	782,047,000		782,047,000	772,427,906	9,619,094	
交通指導取締費	336,040,000		336,040,000	330,015,589	6,024,411	
交通安全施設整備費	1,048,103,000		1,048,103,000	1,045,202,806	2,900,194	
警察費	36,695,279,000	0	36,695,279,000	36,524,311,511	170,967,489	